



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

1945年、8月6日、午前8時15分、広島に落とされた
1つの爆弾によって何万人もの命が一瞬にして奪
われた悲慘な状況をこの学習を通して知り、考え
そして「平和」の大切さを学ぶことができました。
私は去年の夏に原爆ドーム、平和記念資料館へ行
きました。行った当時はまだ、「日本でこんなことが
あったんだ。平和は当たり前のもではないんだな」としか
感じませんでした。しかし今回の授業から「今も世界
では戦争に苦しんでいる人、原爆の後遺症で苦し
んでいる人達はたくさんいて、そのことを自分事として
考え、戦争というものがどれだけ人を傷つけるか、
原爆がいかに恐ろしく、悲しいものなのかを後世に
伝えていかなければいけない」と考えられるよ
うになりました。これからの未来で戦争を止められる
ように私たちがすべきことは日常の中にもたくさん
あります。例えば、人の気持ちを考える、憎しみを憎しみ
のままにしないなどです。戦争を止めるために人の
心の中にあるマイナスな気持ちを一つずつ消し、平和を
求める心にするのが私にできることの第一歩だと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはこのじゅぎょうを通して心に残っている言葉があります。それは「平和」です。自分をふくめて戦争をした事がない人はかたんに「今日も平和だね」と言う事ができます。

しかし戦争だけでなく事故などを今もくしんでいふ人やつらい思いをしている人がいます。その事を考えるとあまり

かたんに「平和」という言葉は使えません。しかしぼくは「平和」という言葉を使いたいです。

そして世界のみんなが仲良楽しく

みんなと「しっかりと「今日も平和だね」と友達家ごとくと言ってみたいのです。

そしておきてしまった事はもうどうにもできません。しかし自分が子どもが出来た時などに原爆の事だったり「平和」だったりをずっと語りついでいく事は出来ませぬ。

なので語りつぎ「世界で争いをなくし平和を築いていく

ことを目指していきようようにかたんばっていきたいと思っていまふ。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今も、どこかで戦争が起きているのかと思うと、今この時この場所でも自分もクラスメイト、先生、家族達が生き残っている今を大事にして戦争が起りにくい世界にしたいと思いました。もし、目の前でくるしんでいる人がいるのなら手をのばせる人達がいる未来を作りたいです。そして、そんな未来を作っていくには、自分達一人一人が手をのばせる存在になっていけばならないと感じました。こんな未来を作れば、戦争なんて起こらない世界を作れると思います。落とし物を拾ってあげたり、ほめてあげたり、あいさつしたりするだけでも少し人の心がせさしくなります。それがつづいたら、人はもとせさしくなるのだと信じています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

这次的原爆老师的特别课程让我学到了很多。原爆老师用自己的方式给我们讲述了当时战争时期和原子弹爆炸的场景。1945年八月六日上午8点15分非常晴朗的天空中有一枚原子弹落了下来,而长岛市的人民们还不知情的玩耍中殊不知危险即将来临。爆炸结束之后死者数达到了14万人死亡率来到了整整40%!! 如果还觉得没什么的话那就大错特错爆炸之后中间的温度达到了100万 $^{\circ}\text{C}$ 旁边的温度都到了7000 $^{\circ}\text{C}$ 相当于太阳表面的温度。但那些存活下来的人们也不相当于没事因为火焰把他她们的衣服烧光了头皮头发也所剩无几那个样子像是魔鬼但就算是这样后面还^是死了因为有一种原子弹产生的病毒把人们毒死了,真希望以后不要再发生这种事



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

み
57

表

ぼくは、原爆先生の特別授業をして、戦争を体験をしていない人でも、悲しいことでした。ぼくは「戦争をしてなんの意味があるのだろう、そんなに原子爆弾を落して、国をボロボロにして、なんの意味があるのだろう」と思いました。そんなに義正者を出し、なんの罪のない人の命をうばい戦争なんて、なんの意味もないと思いました。命をうばうまでや、この世を去った人々にかゆいそうと思う心がないと思いました。なので戦争はもっと早くやるべきだと思いました。大事な家族もうばゆわ友達もみんなうばゆわそのすべてを失った人々は、どんなふう生きていったのかすごくふしぎだと思いました。でも、忘れられないことだと思いが、あの真赤だった広島が今、自然豊かな国になってよかったです。なので原爆先生の話を聞いてすごくよかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

「あたりまえ」は平和の上で成り立っています。「いってきます」と家を出て、「ただいま」と帰ってこられること。一日二食、食べられること。家族が全員で過ごせること。生きていられること。

1945年、太平洋戦争開戦。多くの未来ある人々が帰らぬ人となり、生き残った人々も心と体に傷を負いました。

1945年、8月6日、午前8時15分。広島を熱線と爆風がおそいました。原子爆弾です。その爆弾は多くの人々の命を一瞬でうばいました。せど、このことで生き残った人々も、深い傷を負い、やがては息をひきとりました。

原爆先生の特別授業「7000℃の少年」を受けて気付いたのは、私達が「あたりまえ」だと思っている平和は、どれだけありがたいことなのか、ということです。私達は空襲におびえたことはないし、火の海の中を逃げ回ったこともありません。私達は分からないことが、理解できていることより沢山あります。

しかし、原子爆弾のことを忘れてはなりません。原子爆弾により亡くなった約4万人の人々は、それぞれ夢も希望も、大切な人も、いたことも、あまたはずです。ただの数字ではありません。

だから、私達は核廃絶を、叫び続けます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講

して色んな気持ちが入りこみ、泣いてしまいました。

広島原爆のことは知って学んで

いたけど2時間の

実際の方からの実際にあつた出陣を

話や絵や写真などを、聞い

たり、見たりしたら、リアルで！とでも

悲しくなりました。兵隊さん

助けて。」という多くの声や、手を

さしのべても落ちてしまう衣類、脇が

こすれると痛いから、うでをななめ前

に出しながら歩く人々、手から

たれり液体、人間には見えない人々、

そんな細い、本当にあつた事を、

この時広島にいた人からの言葉を聞いて

お母さんがあつたお話を。義三さん原爆ドームに行ったと

「おれは手子」と泣きながら聞いたことを聞いて本当に経たれた方の気持ちは

はかばかしく思いました。このことは絶対に忘れない。後世の人に伝えるのが大事だと感じました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原火暴先生の特^{じゅこう}別授業を受講して広島におとされた原火暴は戦争にはなにも関係のない市民の命をうばうほどきけんておそろしい火暴弓弾だと実感しました。それだけでなく爆発の後もくるしむ人や自分をもせめる人などがたくさんいることを知りました。原火暴は一瞬で命をうばい、いつたなるのか分からない病におそわれる人もたくさんいて、原火暴は使わない意見がよく分かりました。他にも今戦争をしているところなどもあり、火暴弓弾によるひがいのたてもあるので火暴弓弾が武器がどれほどおそろしいかあらためて実感

ました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原火暴先生のお話を聞いて、今まで自分は原爆についてどれだけかかるとして、浅く考えていたのかというのを、思い知らされました。

今までには原火暴のひんげさというのにならぬことばかりで、ひどいからたたらうたよーのようなとも浅い考えていました。ひがいが話を聞いてみると原火暴とはどれだけのむごたらしいものか、どれだけ最悪な物か、まのあたりにし、とても身がよいし、しょうような内容でした。

このお話を聞いて私は、想像のはるかに大きく原火暴というもののおそろしく、このような事を二度と起こしてはならないと強く思い、そして今後起こさないうために一人一人が平和をとようとび、たがいをもちょうすることが大事だと思いました。

昔の戦争がそのひがいをまっしょうするのではなく、それをのこし、うけつぎ未来の人たちにこのような事がないよう束、いかなければいけないと、とても思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の授業をうけて、本当に
 体馬炙した人が「原火暴の恐ろしさなど」を語って
 くれた心にひびきました。社会の授業な
 どでも原火暴のことや単戈争のことは聞いてい
 たけれど、本当に体馬炙した人が「お川にせ
 め」をしてくれたって原火暴の恐ろしさがい云
 わって来ました。毎年、広島で行われている
 平和への誓いでは広島の小学校の六年生が
 書いた人を集めてその中から二人を選んで「11
 文章」六年生が考えているなんて自分ばかりで
 いできないなと思いましたが、今、自分に出来
 ることは少ないけれど、単戈争のことを考えても
 う二度起てらない様には一人一人がやるかな
 いなと思いましたが、いつか、広島原火暴ドム
 を一度でも見たいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、この原爆先生の特別授業を受講して
 してもすばらしいことにきずけました。平和とはなに
 か、
 ともつたわかりました。原爆はなぜ広島
 や長崎になげられたのかというのもわかりました。
 ぼくたちにできることは友だちとなかよくや
 よいとこをみつめあうことがまずだいじだと思
 います。また人をえがおをつくるなごも平和にして
 いきたいです。これから原爆などがせった
 いにつかわれないうように世界平和を
 してはだめだと思ひます。

このようなきがいをつくってくださる
 してもかんしゃしてしますこのけいけん
 をいかしてこれからいきていきて
 このようにまたくるしんでくる人もいて
 亡くなる、こした人もいるので
 原爆はこのようになにも良いことがおこらな
 物なのでせったいになくして
 いきて
 いですこのようなきがいがだいじなので
 ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

貴重な機会を6年生のために開いていただき、ありがとうございました。

90分、多くの写真や動画で「広島原爆」というものを理解できました。

原爆のくみやアメリカが計画した実験のことも知れました。たった一発の爆弾で広島街が怒りと悲しみと恐怖で埋めつくされ、多くの人々が亡くなってしまった

ことを初めて聞いた時、ショックになりました。

アメリカ軍をにくくなりましたが太平洋戦争を初めた国は、じつは日本なのでおたがいをまたと思いました。

今も悲しい気持ちが残っていますが、僕達にもできる

ことがあります。本当の平和というものを作って

いき、差別やいじめをなくし、宗教問題を

なくすような人に少しずつなっていくため

に気持ちを切り返して、努力していき、

本当の平和というものを、明るい地球

につくっていきたいです。核の恐ろしさを

知らせてくださり、本当にありがとうございました。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

たくまくなったら、この地球のために助け合います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

元々、日本人なので原爆のことは知っていました。ですが、特に原爆はあつたが、戦争のことすらも勉強していませんでした。なので、原爆に対するイメージは「あつたいい兵器」としか認識していませんでした。ですが、原爆先生が実際の戦争、特にヒロシマでの出来事を話してくれて、考えが変わりました。原爆の残酷性、日本に与えた影響など、多くのことを字からことごとく学びました。たった一つの爆弾で、こんなことになるのはとんでもないです。今生きている被爆者はとてつもない。この先長く生きていけないと思います。なので、僕たちが、これから原爆のことを後世に語り継がなければいけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の特別授業を
じゅこうして、原爆がどのくら
い大切な物かをしれた。
ひろしまの人は原爆でいっしょ
んたしてするどい閃光と火暴風
で、数え切れない多くの人の
命が失われたのを聞いて、
原爆の凄さを知れたと思
います。もし、自分がけり
けんしていたらこのこと
だし、いろいろな人の命が失
われていて、思い出したく
ないみたいになっていると思う。
このことをしてほくは、
これからなにをできるか
考えていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

実際の被爆当時の苦しさや原爆によるひどい被害について授業を通して理解を深められました。

被爆しやけどなどのおきずもあらた人々からは何かあったかけさるようなものがあつたおな気がし、おな気がいたくなりました。

私はこの体験が戦争についてや人々の平和などについて考えさせられる機会になつたと思います。これからの生涯ではこの授業で学んだことや世界の戦争についてなど他人に語り継げようように心がけたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生の話しを聞いたリ、
映ぞうを見たリして、原爆はおそろ
しいものだ」と改めおもいました。
原爆がおそろしいものだとは知って
いたけれど、こんなにもおそろしいと思
いませんでした。原爆資料館の
ひばくした人たちのマネキンを見て、
「きれいすぎる」と言っていたと聞いた
のがとても印象に残りました。当時の
ひばくした人はこんなにひどいから、
のだらうかと考えることも心がいたに
なりました。私の身近なところでも、争
いなどはあるので、平和でいられり
よう生活していきなうと思ひました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆はいつで多くの命がうばおれ
てしまう。どうにか助かった人も心や本
に大きな傷を負ってしまうということが
おかりました。また、その悲しい歴史は誰
かが伝えていかないと風化していっ
てしまうということもわかりました。今でも原爆
を保有している国はあり、いつヒロシマのよ
うな悲劇が起こってもおかしくありま
せん。同じ過ちを二度と繰り返さない
よう、さらに原爆について理解を
深め、それを後世に伝え、平和な
世界をつくる手伝いをしたいと思
います。

原爆に限らず「戦争」ということ自体が
人類にとっての「敵」であり「果敢」で
あるとぼくは考えます。今も世界では
戦争が行われ、それによ、て命を失う人
や、苦しい生活を強いられている人がいま
います。そのような人に直接手助けすることはできません

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

が、自分にできることを探していきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

このたった一つの原爆という爆弾だけで多くの人の命をうばう。その現実を目を向けて、今起こっている紛争、ウクライナ侵行、宗教による意見のくいちがいなどの発展を防ぎ、子どもたちのような関係のないのに犠牲者になることを阻止する助けをよりそのつらい気持ちによりそって手をさしのべていくべきだ"と考えました。自分一人でそのことを実現するのは難しいけれど、同じことを思っている人たちで協力し、平和に向けて戦争のおそろしさをうたえて核兵器を捨てる。この言葉が一人でも多くの人に届いて世界中の人々の心を「平和」でバトンを後世につないでいてほしいな。と改めて感じ、いつか世界中が笑える日がきますように。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて、現実を分かってもらいました。原爆が落ちて、人間の動きが変わり、どうしても、うごかなくなっちゃって、やけどで、服はぼろぼろ、ひらがとれて血まみれの人をはこが、私なりにできません。天皇様が言っているから、天皇様のため、いや私から自分のためにはたさきたいです。たけど、この時代はそういうのがあたりまえ、かつ、の時たつたから、つらい思いを、何万人もの人がしたのだと思います。

本当にこのおの中で、にいたと考えると、こわくてぞろとします。池田先生のお父さんの話で、最後のアサート泣くまではいかなかたんですけど、よしどうさんが当時のことを思ったとちかつたんだな、そんなにつらかつたんだと感じました。

世の中には今でも戦争をわけています。多くの方がつらい思いをしていると思いますが、その人たちに平和がおこすれることを願うばかりです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



名前は裏面に記入してください

原爆先生では 原爆のこわさ
 原爆後の人たちのけが人たちのし
 たいの山などのいろいろ原爆のこわさ
 かより すこいと書かりました。ほか
 120人いたいたらたので死体のむろ
 はこわいその重さなとくさなとか
 のたわむせうほうなとかありつづ
 かったと思います。これだけのことをゆ
 えて原爆先生からたえる大切なこ
 となと思います。これからの未来も
 このようななさんなとかないよ
 うに一人一人でも平和にする
 とりよくそれとたいんけつりよくか
 大切なと思います。これから甘
 んそうかおこりうるかのうせいは0%し
 ないのて今後このようなことか
 ないよ
 うにする。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は非常に怖いと思いました。そして改めて戦争を絶対にはいけないと改めて感じます。そして今広島で奇跡の復興を続けているのをすごいと思いました。ほくも広島には行ったことはありませんが、今の原爆ドームは前ではしかりとけ建物だったのに今は懸念みしかない中が抜け出る状況に原爆にはものすごい破壊力です。被爆後の戦争が見た光景が想像できませんでした。人には息ない死体が生きているのか死んでいるのかさうからかい々であらわれていて油が甘うにも助けることができないという兵隊のかわいさうな思いがしました。そして核兵器をなくせとみんなまで協力したいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の授業を受けて原子爆弾がとてもひどい物だということがよくわかりました。人の皮ふがただれて、とれてしまったという話を聞いた時には背筋に震えが走りました。それをずっと見続けていることになるのは本当に辛いと思いました。被爆者人形を見て義三さんが「綺麗すぎる」といった時にはドキッとしました。池田先生が義三さんの話をしている時には名前を変えただけで自分の事を語っているのではないだろうかと思いました。話を聞き終わった時には原爆の辛さを改めて痛感させられました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

正直、原爆をなめてました。私は、先生の目の前で話を聞いていたのですが、先生の気もちのこめられていた読み方に涙してしまいました。今までの中で、原爆に対してこんなに「こわい」と思ったことは初めてかな、と思います。うまく表現ができないうけど、実際に原爆を見て、兵隊さんだっただけのお話を聞くと、テレビとか、今の情報だとか(?)細かいことは分からないから、「本当に」この授業があっただけよかった。と思いました。この授業を受けたおかげで、「戦争はなにも生まない。」「こんなことは二度と起きない。」という事が学べました。なかなか広島の実地に行くことはできないけど、絶対に行きたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆のことについてよく知れました。
原爆のこわさや、原爆が落とされる前や後の当時の出来事が映像で分かりやすかったです。
また、今でも原爆症などの病気にかかっている人がいるということが分かりました。
原爆資料館や原爆ドームには行ったことはあったけど、今回の話でよりくわしく知れました。
次に広島に行くときは、今回の話を思い出して、さまざまなところをめぐりたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/20

私は、原爆先生の授業を聞いて、私は涙が出ました。

1945年、8月6日、8時15分。いつものように生活していた広島の人々の幸せは一瞬で奪われました。太陽よりも熱い球体が、地上から約600mの位置で、爆発し、周りにいた広島の人々は、ひる、かたたれ、目、鼻、口など自分からなくなるほどの大けがを負いました。原爆先生の話の中で、私は何度も、何度も目をふさぎたくなりました。こんなに悲惨なことが本当に起こったのだろうか、良心が痛みました。もしも自分が広島にいたらと思うと考えるだけで恐ろしいです。それでも、悲しみ、苦しみなから生き抜いてきた、広島の人々は、とてもすごいなと思いました。私は、原爆先生の話を聞いて、改めて、戦争をしてはいけない。核兵器を所持してはいけない。使ってはいけないということを学びました。私も、弟とのケカド、友達とのすれ違いなどの、私にとって、身近なところから、広く、やさしい心を持って、生きています。みんながおもいやりを持って、日々、行動できるような世界になるように、原爆で亡くなってしまった人たちの「明日を生きる」と思っていた願いを込めて、1日1日を、大切に、生きて「また」と思います。原爆先生、とても貴重な経験を、ありがとうございました。原爆は使ってはいけないということ、未来のために、語り継いで生きています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/20

私は、原爆先生の授業を聞いて、私は涙が出ました。

1945年、8月6日、8時15分。いつものように生活していた広島の人々の幸せは一瞬で奪われました。太陽よりも熱い球体が、地上から約600mの位置で爆発し、周りにいた広島の人々は、ひる、かたまため、目、鼻、口など自分からなくなるほどの大けがを負いました。原爆先生の話の中で、私は何度も、何度も目をふさぎたくなりました。こんなに悲惨なことが本当に起こったのだろうか、良心が痛みました。もしも自分が広島にいたらと思うと、考えるだけで恐ろしいです。それでも、悲しみ、苦しみなから生き抜いてきた、広島の人々は、とてもすごいなと思いました。私は、原爆先生の話を聞いて、改めて、戦争をしてもいけない、核兵器を所持してはいけない、使ってもいけない、ということを学びました。私も、弟とのケ-カド、友達とのすれ違いなどの、私にとって、身近なところから、広く、やさしい心を持って、いきたいと思います。みんながおもいやりを持って、日々、行動できるような世界になるように、原爆で亡くなってしまった人たちの「明日を生きたい」と思っていた願いを込めて、1日1日を、大切に、生きていきたいと思います。原爆先生、とても貴重な経験を、ありがとうございました。原爆は使ってもいけない、ということを、未来のために、語り継いでいきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

昨日ぼくは、原爆先生の話をきいて原爆のおそろしさがよく分かりました。原子爆弾が爆発する時に中心が100万℃で外側でも太陽より熱い7000℃でその下では約3000℃の熱線で家がほとんどふきとばされたことにもおそろしいことが分かりました。そして原子爆弾が核爆発した時に、一瞬間で亡くなった人や、数日で亡くなった人がいることが原爆の一番のおそろしさだと思いました。広島におとされた原爆のおそろしさをこれからいっしょに伝えていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

池田 先生

今回は貴重なお話をありがとうございました。

改めて戦争とはとてもざんこくで悲しいものだ
と分かりました。

そして、原爆のすごさ、原爆の被害のすごさ
がよく分かり、今の私たちがどれだけの幸せな
生活をしているか、改めて実感することが
できました。

そして今でも、原爆症で苦しんでいる方が
まだまだたくさんいるということを知り、

原爆がほとんど終わり、た中でもまだ被害が
続いている人がいるということが分かりました。

そして、原爆の表面温度が7000℃ということに
おどろきました。

1538℃で鉄がとけてしまうと考えると、とても
すごい温度だったんだなと思いました。

これから、今回お聞きした話を

1人でも多くの人に伝えていけたらなと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の授業で、原爆のおそろしさがわかりました。原爆で、広島
の原爆が落ちた場所がたいがこ
われて、その近くにいた人が人間では
ないものになっているのに、その人
を助けようと思う兵隊の人がす
ばらしいと思いました。原爆によ
って上空にできた大きな火が太陽
よりもあついから、人間も焼けてしま
うのがおそろしいとおもいました。
また原爆が落ちるかもしれない
のに、作業を続けて、死体をしり
たりする兵隊は、わいなかと思
いました。原爆によっておざんに
せくな。てしまった人は、でもか
いえうだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆が広島におちた約4万人が死んだとき
いて原爆がきづくところのことがわかった。
原爆をおとすのに候補があったら、
原爆に名前があることもききました。候
補は、①広島、②小倉、③長崎で、名前はリ
トルポにのこした。

原爆は、じゅんから、600mほど来たはし
でも、3000℃でつかると173おんどが1500°く
らいたからすこくあつかったことがわ
た。

爆発で生きのこったへいたいは、死体をまわしては
こんだりした、川はほぼ死体でうまるくら
だった。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

思ったより原爆のい力が高くて

原爆からはなれた人また人間だけど

だんだん原爆村迹になると

池田先生の言たとおりに人間が
人間じゃないすがたになっっている。

人間だとしてもひんが原爆で

もう焼き上げたじゃなくて

人間じたいが焼いたみたいにな

状態になっていた。原爆の熱さが
なんと7000℃太陽が6000℃ 地上から600m

地上が3000℃太陽約半分の熱さ



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回 池田先生の特別授業をうけてこの中에서도くに池田先生のお父さんの映像を見てとくに胸がいたみました。僕自身も広島原爆資料館に行き、たこがかりそのひんさを目の当たりしました。たかそのレベルではなかつたということか今回の授業によくなりました。

池田先生のお父さん義三さんが体馬食した土也言犬よりもさらに土也犬を僕らはまた糸至馬食したことがあります。んがその中でほとんどの人が知らない中で義三さんの言葉は胡すここの時のつらと過酷さを表現されていたと思います。

昭和20年
1945



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の授業をうけて一つ一つのことか
 心にきざまれました。いつも楽しんでしゃいで
 いたみなたち。いろいろなことであつたをうけていたわ
 たしたちがまじめにうざい人か一人もあらずみんなの
 心にきざまれたと思います。わたしたち6年生のほぼ
 かなり^{原爆ドームについて}あまりに社会の学習ですこしたぐら
 いたと思います。この2時間の授業で広島にい
 たかのような体験ができました。絵や写真、
 映像などをつかいてわたしたち6年生がわからないこ
 との意味をつかかず、わかりやすく説明してく
 れていることが心までつたわりました。

父さんにまで書いて動画としてわたしたちにつたえ
 てくれた事もおぼえています。本当にありがとうご
 さいいます。わたしたちは広島にほとんどおいいで
 ずか、わたしたちができる事をして、なにごとにも
 感謝の胸をもってきたと思います。いつか
 大人になった時には、広島のみなさんにあつたに
 きたいです。そして原爆先生の特別授業をわたの家族や
 知り合いにわたはなりにつたえたいと思いは、原爆先生 本当にありがとう
 ございました!!



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

こめがった。

せんそうめげんし けいしたんとかは
 せんそうのいぢがなかつたほうか
 ほどとあらがいといい思いました。

ぼくのお兄ちゃん、政治家
 になるのめめめめで、
 もしお兄ちゃんか、選挙
 争をしようとしていた
 ら自分か、とめらるる
 ようにしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくが原爆先生の言おしを聞いて一番心にのこったのは原爆がとうかされてひんが焼けただけだれと云うことはものすごくあつたと思ひました。えいぞうびみと思つた事は人が一ひょうもたたずに骨などがいらきにきえかいたんにもその人のかけがあったえいぞうかぼくはとつてもよくわかつたです。げんぼくとはとつてもおそろしい物だつたといふことがわかつました。せんそうはあつてはいけないうものだとよくわかつた原爆はいろいろな場所におとろふとしていたといふことをわけてしりました。広島に原爆がおとされたたくさんの人々が命をうなへてしまつたことをよくじ。かんしました。広島の人たちはもしかしたらまだくるしんでいるかおしはひんからせつたにせんそうはあつてはいけないうことをおもくうけとめました。

この授業をいとして自分のためになつたと思ひました。広島は大きなぼくはつにまきこまれていたことほとつてもかなしい事と思ひました。原爆先生はとつてもよくわかつました。これからその言おしをわすれおしにしていなうと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうごう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の言古を通じて、原爆を持ってはいけないと思います。原爆で、広島の人たちの日常がこわされて、「助け」という声があつたという事です。核兵器は、すべての人の日常をこわして、苦しみのもとにしました。今でも、外国でも戦争は起きていて、核が使われたりしてしまつたので、僕は世界でも広島と同じ状態になつてしまつておれません。自分たちから核兵器を減らす努力をしまつたら、正しくは、核を減らすために、外国のためにつたえらる人になりまふ。そのためには核のこわさについていふは、いふ知らなければいけないので、これからまがいは、いふ強をしていきたいと思ひまふ。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島の人々は、なにも悪くはないのに、日本の政治の人たちが戦争を続けたからために、アメリカが原爆、また、原子爆弾を落されて、たくさんの方が死んでしま。たのめがかわいそうだなと思。た。生き残った人たちも、放射線が原因で、原爆をあまり思い出したくない人たちもいてかわい。そうだなと思。いました。

でも、原爆や原子爆弾が落ちてきたり、始ま。た。ら、怖い、な。あ。と。思。い。ま。し。た。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/20

私は原爆先生の特別授業を受講して、原爆とは私が想像していたよりもはるかにひどいものだということになりました。私は、原爆はたくさんの方の命をうばったものだと思っていました。しかし、原爆先生の話を聞いて、原爆は数えきれないくらいの方を苦しませ、命をうばい、放射線というものでたくさんの方を苦しめるものを残しました。

今、被爆者の方は少なくなっています。しかし、原爆のことを忘れてしまうのではなく、もう戦争をおこさないために、原爆やかく兵器などで苦しむ人が

いなくなるように、未来につないでいくことが大切だと思いました。

そのために、私たちは原爆のことをもと知って、考えて、原爆のことを忘れずに、次世代の人に伝えていくことが大切だな、と思いました。

未来で苦しむ人を減らすために、世界が平和になるために、私たちができることをすすめても行っていきます、と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

1 / 19

原爆先生のお父様が実際に体験したお話を聞いて
 私はとてもショックを受けました。私自身、広島
 へ行く、た時に、原爆ドームが平和記念資料館へ行って
 この歴史を見てきて、理解したつもりではありました。しか
 し、今回お話を聞いて、被爆した方々のあじあ、な苦し
 みは、一人なに理解したつもりでも、想像うしても、ま
 それより、はるかにいりものな、たのたと思ひました。
 今日私たちの命は太平洋戦争が原爆を生き抜いてくた
 た人々で続かなくて、たのに、戦争が核兵器に対する怒り
 や悲しみ、かんしんは私たちの回りの人々から薄まてくる
 感じる機がりはのりあります。自分の正義感だけを周
 りで戦り、傷つけ合う事が最後のたこうり、大事にたか
 のたと思つておぼてします。私はヒロシマがナカキで起つた
 この事、世界で唯一の被爆国に生まれて日本人として
 世界が次の世代の人々にまぎれもな原爆の事、を
 たえ、平和を振り続けたらた、をてて、今もなお
 かく戦争で苦しむ人か一人でもいるよう、自分か
 てきるこてもせり、はのり実行してらまたらた。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を聞いて、原爆のおそろしさとかを知りました。知ったしじょうじにすぐくこおくなりしました。広島にいた人の4090せんとか死んでしまったしゆうのを知って、おそろきました。ひかとかかいはかればおちて、耳とかのかがいごにゑるかあからないしいうのがすこくこわかたし、川にんの死体かあびられたよにならていう話しを聞いすすぐそ、ししました。水かたま、ていうところがかあ、一人かいはらいて、しごころてはねも4にしまらよるか死体かあゑるといのは、まよるかその物たがなと思いまろ原爆、しりかんとをひはく者のか来て、こんないなまかたしいものではないかイけるていしてそれかあ思いのこりました。自分も平和をフガがれたい

はりま



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

昨日、原爆先生の話しを聞いて約80年前の日本、広島ではおれにもこんな
に苦しい戦争があった事を改めて知り
ました。原爆先生の話しで思ふ事は悲
しい事なんだなと思いました。社会の授業
でも習ったとおり社会でも戦争の事がよ
く分かりました。昨日の話しを聞いて自分
も戦争の年に生まれていてその年に兵士
になっていたらと考えると戦争に行った兵
士は恐れているも戦っていて凄いなと思
いました。僕もいつか広島市の原爆ド
ームと平和記念資料館などに行ってみ
て原爆の威力の凄さを知りたいと思
います。それでその時の人々の気持ちも
考えながら見たいです。僕もいつか
広島市の原爆ドームを見たいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

私は広島^の原爆で多くの人の命が失われた。それぐらいのことしか知りませんでした。ですが、原爆先生の特別授業を受講して、残された人や、なんとか生きて、死んでいく人や、一瞬のうちに亡くなった人の言葉にならないような、つらさ、悲しみ、苦しみが、私に伝わってきました。ですが、こんな話を聞いただけで、本当に体験した人のつらさなんて、分かりません。ですが、私たちに出来ることもあると思うんです。広島^の原爆^に対して、苦しんだ人たちの思いをまわりにつたえていく。それが無理なら、自分の心にいつまでもそのことをのこしておく、覚えておくことが大事だと思います。原爆で残された人。なんとか生きて、死んでいく人。一瞬のうちに亡くなった人。そんな人たちの思いを、原真^をを、いつまでも忘れないようにしたい。そんな風に話を聞いて私は思えました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今、社会で戦争について勉強しています。最初に
 広島と長崎に原子爆弾を知ったときは、「へえー
 そんな火爆弾が落ちたんだー」としか思、ていま
 せんでした。そして原爆先生の授業の日が来ま
 した。私たちの学年はいつもと違、てみんな真険に
 先生の言舌を聞きました。映像で原爆が落ちた
 ときのイメージを見たときすごくこわいと思ひました。また原
 爆は思、ておたよりすごく危険で太陽よりも表面温度
 が熱いことが分かりました。そして、外に出ていた
 人は一瞬で消えていなくなり、すぐに死ななかつた
 人もすごい大やけどをおおひ、人のような動物に
 なってしまうことが分かりました。私はすべて聞きおわ
 ったときすごくこわくなりました。なぜなら、また原爆が
 おとされたりす、くたくさんの方がぎせいいになる
 ぼくも死んでしまうかもしれないと思、たからです。
 だからまた同じことをくり返さないために、
 今回学んだことを友達や家族に伝えてみよう
 と思います。そして、次の世代の人がまたこんな
 ことを起こさないように原真います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原火暴先生の話をきいて、あらためて戦争とい
うのはやっではいけないことだということ
を再にもちました。原火暴というたった一つの火暴
弾のせいで平和な町だった広島は一瞬で
なくなり多くの命がうばわれてしまいその
原火暴がもたらしたのは、3000人もこえる
熱風が1秒たらずでとうたつし、人々を火焼き
つくしていつてしまったのかと思うとそれはとて
もひさんな事だといふは思いました。平和とは
みんなが安心して、くらせる楽しめる町幸せ
とは、今を生きていることと広島に原子火暴
弾が投下された事は、変わらない
いのでこれからもう原火暴が「この世に
そんないいしない、使わないような世界にし
ていく事が大事なんだと分かりました。
これから、ぼくにはできることは、もう二度と原火暴
など使わない投下された事をわすれない
ように、つたえ「読」けていくことが大事
だと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

1945年8月6日 午前8時15分 ヒロシマに大きな原子爆弾
が投下されました。あたりは一面焼け野原になりました。
全身大やけどで人の形がも分らない大勢の人々。
生きのびた人々も原子爆弾の後遺病で突然倒れる人々。
原子爆弾はどれほどのたくさんの尊い命が失われたのか。
今の時代になってくると、直接的に原子爆弾を体験した人
はだんだんといなくなってきました。そんな事で、どれほどの
「おそろしさ」を体験したのかはだんだんとなぞになってきます。
そして、時代が進むにつれて、本当にあった事がうそなどでは
といううわさになり、ずれば、またこのような事がおこってしまうと
思うので今私たちが覚えている「おそろしさ」を全て、
教えて、その後の時代の人の脳にきざまれるように
教えていきたいです。また二度と、いつかと同じ日をだ
いなしにするような原子爆弾をいれる(投下)する行
いをしないうし、しっかりと覚えさせるようにしたいです。
(後の時代の人に)



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受けて、戦争はこわいなとあらためてそう感じました。

1945年8月6日午前8時15分広島県広島市に原爆が落され、沢山の人の命と建物が一瞬にして失われました。意味のない戦争で、無様な人々が亡くなり心が痛みました。私は、どうすることもできないので、いのりをしています。

広島に落された原子爆弾は、中心100万度外が7000℃太陽より熱いのは、しゃべり言てびっくりしました。ウクライナ、ロシアで戦争がおこなっているだけでも沢山の無実の関係もない人々が亡くなっています。戦争は、いやな感じがしています。本当に、本当に戦争をおこなってはいけません。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の話を聞いた。たった一発の爆弾でこんなにもいさんで、おぞましいうけいが出来、いっしんのうちに大量の命が失われてしまったというとてもない事実^{じじつ}に、耳をうたがいました。実際の体験された話を聞き、広島の人達はもちろん、投下したアメリカの人達もせんりつするよ様なさんげき同じ日本とは思えない、ちかくのような場所^{ばしょ}に変わった広島市、全体の人口のうち14万人の方がなくなり、その多くが、ひるがただ木、苦しみながら亡くなりました。兵隊さんの話を聞くと、言葉では言表すことが出来ないようなおぞましい仕事の数々、この全てが一つの原子爆弾^{げんじばくだん}におておこってしまいました。そして今でも苦しんでいる方がたくさんいらっしゃいます。こんなことは二度とくりかえしてはいけな^いいと、だれもが思うと思^いいます。ぼくは原子爆弾はこの世に存在^{そんざい}してはいけな^いいと強く思うと共にこの話をとき木^{ときぎ}さして(お)この危うさを感じました。このさんげきをくりかえさないためにも、かく兵器を保有している国の人達にこの話を聞いてもらいた^いと思います。戦争でかく兵器を使うことの危うさ、そしてうた木た場所でおきたちかくを忘木^{わす}れずにぼくは生きて、次の人につなげてい^いにう^え決意^{けつぎ}しました。そして、この話を続けた先に世界から争いが消え、国境をこえて、笑顔あふれる世界になることを心の底から願^{ねが}い、



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は原爆先生の授業で多くの事を学びました。

1945年 8月6日午前8時15分。一瞬にして街は火の海となり、

数え切れない多くの尊い命が失われました。

地上約600mの位地で爆発した原爆は約3000℃の熱で、街を破壊しました。

頭上からの熱線、衝撃波や見えない放射線などが人々を襲いました。

皮や内ははがれ、まるで人間ではないような姿になっています。

歩くと腕と脇が擦れ、痛いので、周りの人々に皆腕を前にして歩いていきます。

米や日用品などはなく、セカ府と日用品などを交換し、米は決められた量しか買えませんでした。

このような事が二度と起こらないように「憎しみ」や「悲しみ」の連鎖を自分のところで断ち切る「強志」と「優しさ」が必要ですね。

そして、文化や歴史の違いを起えてお互いを認め合い、相手の気持ちや考えを「知ることが大切です。

世界の人々の心の中に「争い」という文字を消し「平和」一色にする事を誓います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、特別授業を受けるまでに、原子爆弾が落とされたことにより、亡くなってしまった人々の人数は知っていても、実体馬喰した人の話は聞いていませんでした。原爆先生の特別授業で、実体馬喰した人の話を聞き、今までの原子爆弾へのイメージと違っていました。そして、その今までのイメージを改めました。なぜなら、戦争が兵器が怖かったからです。兵隊の人々が広島に行き、死体の処理や建て物をこわした時は、とても怖いと感じました。なぜなら、文中の表現で、痛々しいヒバクシャたちの姿が言われていたからです。そして、今までの日常が、いっぱい入っていた建て物が無くなり、市内も殺風景になっていることで、そういう失感が生まれるからです。その話を聞いて、怖いと思ったということは、私は心の奥底で、やはり世界全てが平和になることを希求しているのだと分かりました。原爆先生のように、原爆の実体馬喰をした人の代わりは、後世に原子爆弾を語り継ぎ、世界が平和になるといいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

大変貴重な機会を子供達の為に開催して下さいありがとうございました。1時間半、今迄多くの本や映像などで“広島”の原爆”を見聞しましたつもりでしたが、今日は受け止め方感じた思いが全く異なるものでした。残虐なシーンに胸がゆっつけられるだけでなく、親としての責務を強く強く感じました。まず“原爆”というものが何であったのか？なぜ広島か、なぜ投下...なぜ...何度も心に連呼されました。これは、科学を知らず原爆が造られた経緯当時の歴史的背景、多くの学びを得ていなければ本質は見えてこない。今でも続く同じ地球上で起きている人と人との闘い...、民族、宗教、身分、多くの要素が複雑にからみ合い起きるべき所で起きてしまっている戦争、なぜ人々は歴史に学ばないのか、多くの人の命が瞬時に消えてしまうような惨事を経験してきても...、やはり自分事として自分に寄せて考える力が、惨事を知る機会すら少ない。しかし、よしどうさんのことはこれまで見た映像の後に全てを否定するかのようによく、“きれいすぎる...”そして原爆資料館を訪れた時それまでの心配とは裏腹に“何も感じなかった、余りにも遠すぎて...”経験のした声しか届かない。しかしそれをどのように伝えていくのか、親が日々の生活の中で、子供や自分に引き寄せて自分事としてこのよしどうさんの想いを考え、例えば友とのものごとだったり、怒りだったり、小さなものが大きな力を生み出す布でも理解し、平和を感じる世の中を日本だけでなく世界単位で考えられる力を伝える...、これはこれからを担う子供達の一番側にいる親の責務